

草津市総合計画策定プロジェクトチーム会議

(リーディングプロジェクト研究チーム 第1回)

日時：平成21年4月21日（火）

18時から

場所：601会議室

1 開会

2 議事

リーディングプロジェクトの研究について

3 閉会

資料

資料1: リーディングプロジェクトの研究について

リーディングプロジェクトの研究

1. 主要プロジェクトの位置づけについて（確認）

- 将来ビジョンを受け、構想期間において本市まちづくりを先導するプロジェクト。
- 係る分野の施策をすべて関連づけて推進し、同時に、施策間の相乗効果も期待する。行政分野の別によらず、横断的あるいは重点的な内容となる。

2. 研究のステップ

- (1) 仮説の検証
- (2) 各プロジェクトのロードマップの作成
 - ① 時期別の目標設定（短・中・長期）
 - ② 各目標に対する施策の検討
 - ③ 施策ごとの主体別の役割と成果指標の検討
- (3) 中間報告書のまとめ（5月）
- (4) 最終報告書のまとめ（6月）

(主要プロジェクトの仮説)

- 将来ビジョンを受け、構想期間において本市まちづくりを先導するプロジェクトとして、以下の仮説を整理した。

【仮説】

将来ビジョンとの基本的な対応関係	高いところざし		
	出合いに満ちるまち	憧れと親しみ	自律する地域経営
	自負と責任		
仮題	くさつ感動交差点 プロジェクト <small>ジャンクション</small>	快遊生活タウン プロジェクト	近隣 SAFE プロジェクト
背景／課題	<ul style="list-style-type: none"> 大都市近郊のベッドタウンとして発展した経緯（3/4が転入者）などを踏まえ、市民文化が成熟の方向へ進みつつある。 「出合い」をキーワードとした歴史・文化がある。 交通の要衝である。 コミュニティ FM が開局予定である。 多文化共生に積極的に取り組んでいる。 有力な都市機能集積、農業基盤がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 超高齢社会／成熟型社会にあって、都市資源の集約と小地域での生活確保、市内移動の確保が重要。 民生部門のエネルギー消費の多くを自家用車等が占める。 市域を分断する旧草津川が、広大な低未利用地としてまちなかに残されている。 市域に琵琶湖を含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣自治の体制の刷新、政府機能を担う時代への準備が必要。 地域生活の安心を守る上で、地域コミュニティ（地縁／テーマ）の役割が拡大。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 宿場町・湖上交通拠点など歴史性の活用、コミュニティ FM、新旧交流、多文化共生、都市機能活用、異業種交流 等 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化、旧草津川活用、小地域の生活基盤整備、公共交通システム（LRT など含む）、低炭素型社会、バリアフリー 等 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ、市民自治、見守り、地域協働合校、市民センター構想等
キーワード	<ul style="list-style-type: none"> 出合い、ふれあい・交流、街道 等 	<ul style="list-style-type: none"> 快適、魅力的、コンパクト、コンビニエント、コンファタブル（心地よさ） 等 	<ul style="list-style-type: none"> 生活、安心、共生、協働、自律 等
市民会議の主な提案領域	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消の促進（第3部会） まちづくりセンター等の強化（第4部会） 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スポットづくり（第2部会） 誰もが出かけやすいまち（第2部会） 中心市街地活性化（第3部会） 	<ul style="list-style-type: none"> 住民主体の公園づくり（第1部会） まちづくりセンター等の強化（第4部会）
座・でいすかす検討対象	-	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ、見守り

■リーディング・プロジェクト研究の進め方

STEP1: 仮説の検証

手法：ブレインストーミング（付せんと模造紙／ホワイトボードなどを使用）

- ① 「何を最終の目的（状態像）とするのか」⇔「プロジェクトの標題をどうするか」
- ② 「3つの仮説」を「*つのリーディング・プロジェクト」として設定する
- ③ 「プロジェクトのねらい」を整理する（文案作成）

STEP2: ロードマップづくり

手法：ブレインストーミング（付せんと模造紙／ホワイトボードなどを使用）

- ① 「目的に向かう手段（施策）は何か」⇔「マイルストーン（一里塚）は何か」
- ② 「ロードマップ」を描き、「施策体系」「主体別の取り組み」を整理する
- ③ 「重点事業」を設定し、「成果指標」「主担当課」「予算規模」を含めた具体的な事業展開イメージを取りまとめる

STEP3: *つのリーディング・プロジェクトの集約

- ① *つのプロジェクト全体として、「推進のキーポイント」「推進におけるハードル」を確認し、調整する
- ② *つのリーディング・プロジェクトを定型書式（たたき台をもとに調整）にまとめる
- ③ 主体別の取り組みを一覧表にまとめる